神港テクノス(株)

調節計 SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	9
3	通信設定例	10
4	設定項目	82
5	結線図	87
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	105
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

神港テクノス(株)製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU ¹	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
С	CPT-20A ²	上部モジュラージャック (縦列接続の場合は 下部モジュラージャック)	RS422/485 (4 線式)	設定例 1 (10ページ)	結線図 3 (93 ページ)
	FCD-13A-□/M,C	背面パネルの端子台	RS-232C	設定例 2 (12 ページ)	結線図 1 (87 ページ)
	FCD-15A-R/M,□□,C	背面パネルの端子台	RS-232C	設定例 3 (14 ページ)	結線図 1 (87 ページ)
	FCR-13A-□/M,C	背面パネルの端子台	RS-232C	設定例 4 (16 ページ)	結線図 1 (87 ページ)
	FCR-15A-R/M,□□,C	背面パネルの端子台	RS-232C	設定例 5 (18 ページ)	結線図 1 (87 ページ)
	FCR-23A-□/ M,□□,C	背面パネルの端子台	RS-232C	設定例 6 (20 ページ)	結線図 1 (87 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 2 (12 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
	FCD-13A-□/M,C5	背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 2 (12 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 7 (22 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
FC	FCD-15A-R/M,□□,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 3 (14 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 3 (14 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 8 (24 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
	FCR-13A-□/M,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 4 (16 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 4 (16 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 9 (26 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 5 (18 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
	FCR-15A-R/M,□□,C5	背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 5 (18 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 10 (28 ページ)	結線図 2 (88 ページ)

シリーズ	CPU ¹	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
FC	FCR-23A-□/ M,□□,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 6 (20 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 6 (20 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 11 (30 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
	FIR-201-M,C	背面パネルの端子台	RS-232C	設定例 12 (32 ページ)	結線図 1 (87 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 12 (32 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
	FIR-201-M,C5	背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 12 (32 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
FIR		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 13 (34 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 14 (36 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
	JIR-301-M□,C5	背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 14 (36 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 15 (38 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
GC	GCS-33□-□/□,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 16 (40 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
00		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 16 (40 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
	JC□-13A-□/M,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 17 (42 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 17 (42 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 18 (44 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
	JCS-23A-□/□,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 19 (46 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
JC		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 19 (46 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 20 (48 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 21 (50 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
	JC□-33A-□/M□,C5	背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 21 (50 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 22 (52 ページ)	結線図 2 (88 ページ)

シリーズ	CPU ¹	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	JCL-33A-□/M□,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 23 (54 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
JC		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 23 (54 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 24 (56 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 25 (58 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
AC	ACS-13A-□/M□,C5	背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 25 (58 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 26 (60 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 27 (62 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
NC	NCL-13A-0/M,000	背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 27 (62 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 28 (64 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
	DCL-33A-□/M□,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 29 (66 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
DC		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 29 (66 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 30 (68 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
	FCL-13A-□/□,C5, □□□□□□□ ³	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 31 (70 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
FCL		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 31 (70 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 32 (72 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
	PC-935-□/M,C PC-955-□/M,C	背面パネルの端子台	RS-232C	設定例 33 (74 ページ)	結線図 1 (87 ページ)
	РС-935-□/M,C5 РС-955-□/M,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 33 (74 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
PC-900		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 33 (74 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 34 (76 ページ)	結線図 2 (88 ページ)
	PCD-33A-□/M□,C5	背面パネルの端子台 (IF-300-C5 を使用する場合)	RS-232C	設定例 35 (78 ページ)	結線図 4 (96 ページ)
		背面パネルの端子台 (IF-400 を使用する場合)	RS-232C	設定例 35 (78 ページ)	結線図 5 (97 ページ)
		背面パネルの端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 36 (80ページ)	結線図 2 (88 ページ)

- 1 調節計の型式は、指定するオプションにより異なります。オプションの詳細については、各機器のカタ ログを参照してください。 シリアル通信のオプションは、","の後が RS-232C の場合は「C」、RS422/485 の場合は「C5」となります。
- 2 C シリーズで複数チャンネルを使用する場合は、2ch 温度制御ユニット (CCT-235-2-**) が必要です。 ** の型式の詳細は、C シリーズのマニュアルを参照してください。
- 3 FCL-13A,C5 はマニュアルでは FCL-100 シリーズと表記されています。
 - 通信ラインにプルアップ、プルダウン抵抗の接続が必要な機種と接続する場合は、 要 IF-300-C5 変換器(結線図 4)または、IF-400 変換器(結線図 5)を使用してくださ ι١. 接続構成 1:1 接続 接続機器 表示器 1:n 接続(Cシリーズ以外の場合) 接続機器 接続機器 接続機器 表示器 最大接続台数16台 接続機器 接続機器 接続機器 最大接続台数16台 • 1:n 接続(Cシリーズの場合) 接続機器 接続機器 接続機器 表示器

最大接続台数15台

IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

211 - 7	使用可能ポート				
99-X	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)		
PS-2000B	COM1 ¹ , COM2, COM3 ¹ , COM4	-	-		
PS-3450A、PS-3451A	COM1, COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²		
PS-3650A、PS-3651A	COM1 ¹	-	-		
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ¹ COM2 ¹ COM3 ² COM4	COM3 ²	COM3 ²		
PS-3711A	COM1 ¹ , COM2 ²	COM2 ²	COM2 ²		
PL-3000B	COM1 ¹ ² , COM2 ¹ , COM3, COM4	COM1 ¹ ²	COM1 ¹ ²		

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF ¹	予約(常時 OFF)
2	OFF	通信古式・BS 222C
3	OFF	地后刀式, KS-232C
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない
9	OFF	PS(PTS) 白動則御王 – ド・無効
10	OFF	

1 PS-3450A、PS-3451A を使用する場合のみ設定値を ON にする必要があります。

ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	通信士士・BS 400/495
3	ON	地后刀式, KS-422/483
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない
9	OFF	DS(DTS) 白動制御エード・毎効
10	OFF	

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信士士・BS 400/495	
3	ON	通信力式 . KS-422/485	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON		
10	ON	KS(K15) 日勤前御モート: 有効	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 ブロジェクトファイルの新規作ม	ξ.		×
GP-Pro	接続機器		
	メーカー	神港テクノス(株)	•
	シリーズ	調節計 SIO	•
	ロ システ	ムエリアを使用する この接続	<u> </u>
	接続方法		
	ポート	COM1 💌	
	3 (<u>B</u>)	通信設定 ロジック画面作成 ベース画面	作成 キャンセル

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「神港テクノス(株)」を選択しま す。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「調節計 SIO」 を選択します。 「調節計 SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ^{②デ} 「1 システム構成」(3ページ)
システムエリアを使用 する	本ドライバでは使用できません。
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例1

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要		接続機器変更		
メーカー 神港テクノス(株	.)	シリーズ 調節計 SIO ポート COM1		
文字列データモード 2	 <u>変更</u>			
诵信設定				
通信方式	RS2320 0	RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)		
通信速度 9	9600	•		
データ長 🧿	07 0	8		
パリティ 〇	こなし 💿) 偶数 🔹 合数		
ストップビット 🔎	01 0	2		
7日一制御 🤇	0 なし — C	er(dtr/ots) C Xon/Xoff		
タイムアウト 🛛	: (sec))		
リトライ P				
送信ウェイト 🛛 🛛	: (ms)			
RI / VCC 6	D RI C	1 VCC		
RS232Cの場合、9番ビ	ンをRI(入力)にする	5かVCC(5V電源供給)		
してするかを進択 いきます トを使用する場合は、 \	。テジタル製RS232 VOCを選択してくださ	20アイソレージョンユニッ さい。 初期時定		
105-040/982/2- 接続可能台数 16台				
No. 機器名		設定 		

重要

• 通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	2ms 以上
19200bps	2ms 以上

連続書込みを行うと書込みに時間がかかる場合があります。
 たとえば5ワードのデータ書込みにかかる時間は1秒です。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 👥 を クリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	CPT-20A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器の機器番号設定用ロータリースイッチと通信設定用ディップスイッチ で行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

設定項目

• 機器番号設定用ロータリースイッチ

設定	設定内容
1	機器番号設定:0~15

• 通信設定用ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容	
SW1	OFF	通信速度:9600bps	
SW2	ON	終端抵抗設定:ON	
SW3	OFF	通信形態設定:神港テクノス標準プロトコル	
SW4	OFF		
SW5	OFF		
SW6	OFF		
SW7	OFF	- デジタル出力設定:通信コマンドで ON/OFF する。	
SW8	OFF		

3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(株)	シリーズ 調節	it sio	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式	t) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	© 7 (C 8		
パリティ	C なし 🤇	◉ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	• 1	O 2		
フロー制御	© なし (C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔆 (se	c)		
リトライ	2 🔆			
送信ウェイト	20 🚊 (ms	3)		
RI / VCC	• RI (o voc		
RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま	ピンをRI(入力)にす	るかVCCにV電源供給 920アイハルーションコ	檜)	
トを使用する場合は、	VOCを選択してくた	ささい。 ざさい。		
機器別設定				
接続可能台数 16台	11			
No. 機器名		設定 りリーズ=FC	D-13A.フニット No=1	
(10)				

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCD-13A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を6回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキーを押 ↓ します。

設定完了

3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 神港テクノス(株)	シリーズ 調節計 S	IO O	ポート COM1
文字列データモード 2	<u>変更</u>		
通信設定			
通信方式 •	RS232C C RS422/485(2線式)	C RS422/485(4線式)	
通信速度 96	00 🔽		
データ長 💿	7 C 8		
パリティ 〇	なし 💿 偶数 📀	奇数	
ストップビット 💿	1 0 2		
7日〜制御 💿	なし C ER(DTR/CTS) C	XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🛛	(sec)		
リトライ 2			
送信ウェイト 20	:: (ms)		
RI / VCC ©	RI O VCC		
RS232Cの場合、9番ビン にするかを選択できます	/をRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) デジタル制RS232Cアイソルージョンコニッ		
トを使用する場合は、Vi	フラダル最い32320アイフレーフョンユニダ 20を選択してください。	初期設定	
機器別設定			
接続可能台数16台 📗]		
No. 機器名		(5A,ユニット No=1	
	POLL /		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCD-15A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 5 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調節	铞 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	RS232C	〇 RS422/485(2線)	式) 🔘 RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	• 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔅 🤅	sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	20 🚊 (ms)		
RI / VCC	• RI	C VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCC(5V電源供	(給)	
トを使用する場合は	L, VOCを選択して	ください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	10th	= 1		
No. 機器名		設定 「」「シリーズ=F	でR-13A.ユニット No=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCR-13A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を6回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキーを押 ↓ します。

設定完了

3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調節	陆 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	RS232C	C RS422/485(2線	式) C RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長	⊙ 7	C 8		
パリティ	○ なし	◉ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	€ 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 📑 (sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	20 🚊 (ims)		
RI / VCC	• RI	C VCC		
RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)(ます。デジタル制度	」するかVCCにV電源供 S232Cアイハルーション。	(給)	
トを使用する場合は	t、VCCを選択して	ここことのパラレーション。 こください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台 📷				
No. 機器名		設定 シリーズ=F	FCR-15A.ユニット No=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCR-15A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 5 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(株	;)	シリーズ 調節語	+ SIO	ポート COM1
文字列データモード 2	<u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	RS2320 C	RS422/485位線式) ⁽⁾ RS422/485(4線式)	
通信速度 🛛	9600	•		
データ長 🤅	7 O	8		
パリティ 🔿	こなし 📀	偶数	○ 奇数	
ストップビット 🤇	61 O	2		
フロー制御 🤇	0 tal. 🛛 🔿	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🛛	(sec)			
UN 5 7 P	-			
送信ウェイト 🛛 🛛	0 🔆 (ms)			
RI / VCC	RI C	VCC		
RS232Cの場合、9番ビ にするかを選択できます	ンをRI(入力)にする トーデジタル制度5222	かVCC(5V電源供給	ê)	
トを使用する場合は、	い。) りろかみでいる232 VOCを選択してくださ	0)490-99977 0.	-> 初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	tt)	- 1		
No. 機器名 又 1 PLC1		設定 ズ=FC	R-23A.그ニット No=1	
11		RUL I F F F F		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCR-23A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を6回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキーを押 ↓ します。

設定完了

3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	,(株)	シリーズ 調道	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2紡	赋) ○ RS422/485(4線式)
通信速度	9600	-		
データ長	© 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	€ 1	C 2		
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 📑	(sec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	20 🚊	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VOC		
RS232Cの場合、9f	野ピンをRI(入力)()	こするか VCC (5V電源(共給) (フェッ	
トを使用する場合は	よ9。プラダル要F L、VCCを選択して	は2820アイ クレーション こください。	イエニッ 初期語会定	:
機器別設定				
	100			
No. 機器名		設定 Nリーズ=	FCD-13A フェット No=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCD-13A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を6回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキーを押 ↓ します。

設定完了

3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調道	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2紡	記) 〇 RS422/485(4編	(方)
通信速度	9600	•		
データ長	⊙ 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	O 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β	(sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	20 🚊	(ms)		
RI / VCC	© RI	O VOC		
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)(注す。デジカル制度	こするかVCC(5V電源(共給)	
トを使用する場合(よ、VOCを選択して	いたさい。 こください。	シュージ 初期	g定
機器別設定				
接続可能台数 16台	î 📷	= 1		
No. 機器名		設定 	FCD-15A,고드ット No=1	
 通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップピット フロー制御 タイムアウト リトライ 送信ウェイト RI / VOC RS222Cの場合、9 (2 するかを選択でき) トを使用する場合(1) 機器別設定 接続可能台数 166 No. 機器名 ※ 1 PLC1 	 RS232C 9600 7 たし 1 たし 月二日 アレージョン アロージョン デンタロイン アロージョン アレージョン アレン アレージョン アレン 	 RS422/485位納 第 第	 (1) FS422/485(4新) (2) 奇数 (2) XON/XOFF (1) 大のN/XOFF (2) 大のN/XOFF (2) 大のN/XOFF (3) 大のN/XOFF 	5式) 改定

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCD-15A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 5 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調算	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線	(式) C RS422/485(4線式))
通信速度	9600	•		
データ長	⊙ 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	• 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🚊	(sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	20 📃 ((ms)		
RI / VCC	© RI	C VOC		
RS232Cの場合、9種	番ピンをRI(入力)(。 ます、デジカル 御店	こするか VCC (5 V電源(共給) (フェッ	
トを使用する場合は	Lyocを選択して	は2820 パイ クレーション こください。	シュージ 初期設定	:
機器別設定				
接続可能台数 16台	Htt:			
No. 機器名		設定	FCR-13A.フニット No=1	
M . 1.201				

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	20ms 以上	
19200bps	20ms 以上	

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCR-13A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を6回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキーを押 ↓ します。

設定完了

3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	訪続機器変更
メーカー (神港テクノス(株) シリーズ (調節計 SIO ポート COM	41
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C ④ RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ C なし C 偶数 C 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
70-制御 💿 なし 🔿 ER(DTF/OTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト 🔉 🚍 (sec)	
UF54 P 🗄	
送信ウェイト 🛛 🔁 (ms)	
RI/VCC © RI Ĉ VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(6V電源供給) にするかを避視できます。デジタル参URS220Cアイソルージャンフェッ	
ドを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能台数 16台 📷	
NO. 1機研造 認定 又 1 PLC1 振行のリーズ=FCR-15A.7 Tット No=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	20ms 以上	
19200bps	20ms 以上	

機器設定

🏄 個別機器	×	
PLC1		
シリーズ	FCR-15A	_
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 5 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノン	ス(株)	シリーズ 顧	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	RS422/485(2)	線式) 〇 RS422/485(4線	(先
通信速度	9600	-		
データ長	● 7	08		
パリティ	○ なし	● 偶数	〇 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/OTS)) O XON/XOFF	
タイムアウト	3	(sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	20 🔆	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VOC		
RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力))	にするか VCC 低V電源	(供給)	
トを使用する場合(は、VCCを選択し	いっとっとし アイ クレーショ. てください。	ノユニッ 初期	設定
機器別設定				
	i 📊			
No. 機器名		設定 トルーズ	=FCB-23A フェット No=1	
1			TORCEON(III) THO T	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	20ms 以上	
19200bps	20ms 以上	

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCR-23A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を6回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキーを押 ↓ します。

設定完了

3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調節	計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線;	代) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	€ 7	C 8		
パリティ	○ なし	◉ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β <u>÷</u> (se	ec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	20 🚊 (m	s)		
RI / VCC	• RI	C VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)にす ます。デジタル制PS	するかVCCにV電源供 232Cアイバルーションコ	給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択してく	ださい。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台		= 1		
No. 機器名		設定 シリーズ=F.	IR-201-M.코드ット No=1	
			IN 201 M. 1 91. NO-1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	20ms 以上	
19200bps	20ms 以上	

機器設定

🏄 個別機器	资定	×
PLC1		
シリーズ	FIR-201-M	•
고드ット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー (神港テクノス(株)	シリーズ 調節計 SIO ポート	COM1
文字列データモード 2	<u>変更</u>	
通信設定		
通信方式 O F	RS232C	
通信速度 960	0 💌	
データ長 💽 7	7 08	
パリティ O た	なし ◎ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット 💿 1	1 0 2	
フロー制御 💿 🏌	なし、 🔿 ER(DTR/CTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト β	(sec)	
リトライ P		
送信ウェイト 20		
RI / VOC 💿 F		
RS232Cの場合、9番ピン にするかを選択できます。	をRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) デジカル型RS232Cアイソルージョンフェッ	
ドを使用する場合は、VCi	いる選択してただい。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 📷	Enter	
1 PLC1	====================================	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	20ms 以上
19200bps	20ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FIR-201-M	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(移	\$)	シリーズ 調節調	H SIO	ポート COM1
文字列データモード 🏳	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式(• RS232C O	RS422/485(2線式	;) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長(• 7 • 0	8		
パリティ (○なし ⊙	偶数	○ 奇数	
ストップビット (• 1 O	2		
7日〜制御 (© なし 🔹 🔿	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 📑 (sec)			
UF54	2			
送信ウェイト	10 🔆 (ms)			
RI / VCC (• RI O	VCC		
RS232Cの場合、9番)	ピンをRI(入力)にするが))VCC(5V電源供給	<u></u>	
トを使用する場合は、	9。リンジル製に3232 VOCを選択してくださ	5)° 10		
機器別設定				
接続可能台数 16台	111			
No. 機器名 「 1 PLC1		- 設定	R-301-M.7 Twk No=1	
1			(001 M.1101 H0 1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	资定	×
PLC1		
シリーズ	JIR-301-M	•
고드ット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル
接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 設定完了

3.15 設定例 15

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 神港テクノス(株)	シリーズ 調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード 2	更
通信設定	
通信方式 C R3	32C
通信速度 9600	V
データ長 💽 7	C 8
パリティ 〇 な	○ 偶数 ○ 奇数
ストップビット 💿 1	C 2
フロー制御 💿 な	C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト β	🔆 (sec)
UN51 P	
送信ウェイト 10	(ms)
RI / VCC C RI	C Voc
RS232Cの場合、9番ピンを にするかを選択できます。デ	((入力)にするか VOC(5 V電源供給) タル型R52390 アイバルーションフェッ
ドを使用する場合は、VCC	選択してください。
機器別設定	
接続可能台数 16台 📷	5.4cm
1 PLC1	=

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	资定	×
PLC1		
シリーズ	JIR-301-M	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 設定完了

3.16 設定例 16

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(税	ŧ)	シリーズ 調節語	it sio	ポート COM1
文字列データモード 2	? <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	• RS232C (○ RS422/485位線式	;) ORS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長 (• 7 (8		
パリティ (こなし 🤇	● 偶数	C 奇数	
ストップビット 🤇	•1 (0 2		
フロー制御 の	◎ なし (🖱 ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト 🖡	3 📑 (sea	c)		
มหริส 🖡	2 🕂			
送信ウェイト 🏼 🏾	170 🚊 (ms	.)		
RI / VCC	RI (
RS232Cの場合、9番と にするかを選択できます	² ンをRI(入力)にす ま、デジタル型RS2:	るかVCC(5V電源供給 32Cアイソルーションフ	ê) 	
トを使用する場合は、	VCCを選択してくだ	1977 - 1972 - 19	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	Ut)	=74		
No. 機益名			S-300,ユニット No=1	
		HALL IN THE REAL		

重要

• 通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	180ms 以上 (IF-300-C5 使用時) 170ms 以上 (IF-400 使用時)
19200bps	200ms 以上 (IF-300-C5 使用時) 180ms 以上 (IF-400 使用時)

機器設定

💣 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	GCS-300	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(Q)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を4回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.17 設定例 17

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調節	計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>we</u>			
通信設定				
通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線テ	t) C RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長	© 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	€ 1	0 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β <u>÷</u> (se	ec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	10 🚊 (m	s)		
RI / VCC	• RI			
RS232Cの場合、9番 にするかを避けてき	静ピンをRI(入力)にす ます。デジカル制PS1	あかべくくらい であってい	給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択してく;	ださい。		
機器別設定				
接続可能台数 16台		= 0		
No. 機器名		設定	C*-13A.ユニット No=1	
0		ALL IN THE		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	资定	×
PLC1		
シリーズ	JC*-13A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	0K(<u>0</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を4回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.18 設定例 18

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調節	計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線)	式) C RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長	• 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	O 2		
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔅 🤅	sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	10 🚊 (ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、9番 にするかち避免でき	ませいをRI(入力)に	するかVCC(5V電源供	(給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択して	ください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	W.			
No. 機器名		設定	IC*-13A.フニット No=1	
l inter			0**13H, <u>2</u> _9]* N0=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	JC*-13A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を4回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.19 設定例 19

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(株)	5	シリーズ 調節計 SIC)	ポート COM1
文字列データモード 2	- <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式 📀	RS232C C R	S422/485(2線式)	〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 9	600 💌]		
データ長 💿	7 08			
1915-1 C	なし 🔍 偃	数 O T	奇数	
ストップビット 📀	1 0 2			
フロー制御 📀	tau Cel	r(dtr/ots) 🔿 🔿	(ON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🛛	(sec)			
リトライ P				
送信ウェイト 🏾 🏾 🏾) 📑 (ms)			
RI / VCC (•	RI OV	cc		
RS232Cの場合、9番ビ	ンをRI(入力)にするかい	VCC(5V電源供給)		
トを使用する場合は、V	。) りうみん 最 へっここうこう, /CCを選択してください。	。 。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台 📗	<u>.</u>			
No. 機器名		設定 トリーズ=JCS-23	A.フニット No=1	
1				

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	JCS-23A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を4回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.20 設定例 20

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調道	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2紡	武) 〇 RS422/485(4線	元
通信速度	9600	-		
データ長	⊙ 7	C 8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	10 🚊	(ms)		
RI / VCC	© RI	O VOC		
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)(ます。デジカル制度	にするかVCC(5V電源(共給)	
トを使用する場合に	t, VOCを選択し	いっしつ アイクレーション てください。	シュージー 初期語	定
機器別設定				
接続可能台数 16台	î 📷	= 1		
No. 機器名		設定 「「」「シリーズ=	JCS-23A.ユニット No=1	
No. 機器名		設定 シリーズ=	JCS-23A,ユニット No=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	JCS-23A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を4回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.21 設定例 21

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(株)		シリーズ 調節計 SI	0	ポート COM1
文字列データモード 2	· <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式 💿	RS2320 O F	RS422/485(2線式)	〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 96	500 💌	•		
データ長 💿	7 C 8			
//リティ O	なし 🔍 🕼	戦 つい	奇数	
ストップビット 💿	1 0 2	1		
70~制御 💿	なし C E	ir(dtr/ots) 🔿 🖸	XON/XOFF	
タイムアウト 3	: (sec)			
リトライ 2	-			
送信ウェイト 🔟	: (ms)			
RI / VCC 💿	RI O V	/00		
RS232Cの場合、9番ピン にするかを選択できます。	ンをRI(入力)にするか デジタル制RS2320	VCC(5V電源供給) アイハルーションフェッ		
トを使用する場合は、Vi	。 COを選択してください)°	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数16台 📷		= 1		
No. (浅荷)2 1 PLC1		iRJ定 「」「シリーズ=JCS R	D M-33A.ユニット No=1	
		Page 1		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	10ms 以上	
19200bps	10ms 以上 (JCS-33A 以外の場合) 15ms 以上 (JCS-33A の場合)	

機器設定

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	JCS R D M-	-33A 💌
ユニット No		
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 → 設定完了

3.22 設定例 22

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要 接続機	<u>器変更</u>
メーカー 神港テクノス(株) シリーズ 調節計 SIO ポート COM1	
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
通信方式 〇 RS232C ④ RS422/485位線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップピット ⊙ 1 ○ 2	
70-制御 💿 なし 🔿 ER(DTR/GTS) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト <u>3</u> (sec)	
UF54 P 🚊	
送信ウェイト 10 🚍 (ms)	
RL/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピッをRI(入力)にするかVCCのV電源供給) にするかを避免できます。デジカル型RS232Cアイソルージョンフェッ	
ドを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 📷	
No. 1株品24 話文定 1 PLC1 アレーズ=JCS R D M-33A.ユニット No=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	10ms 以上	
19200bps	10ms 以上 (JCS-33A 以外の場合) 15ms 以上 (JCS-33A の場合)	

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	JCS R D M-	33A 💌
ユニット No		
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 ◆
設定完了

3.23 設定例 23

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調節	計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>w</u>			
通信設定				
通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線)	代) C RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	€ 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β <u>÷</u> (se	с)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	10 🚊 (m	s)		
RI / VCC	• RI			
RS232Cの場合、9番 にするかを避けてき	静ピンをRI(入力)にす ます。デジカル制PS1	あかVCC(5V電源供)	給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択してく;	じょうしょう シャーションユ どさい。		
機器別設定				
接続可能台数 16台		= 0		
No. 機器名		設定	CL-33A.ユニット No=1	
00		RUL IN THE		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	JCL-33A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 → 設定完了

3.24 設定例 24

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調節	陆 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485位線	式) 🔘 RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長	• 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	O 2		
フロー制御	© なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β <u>÷</u> (sec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	10 🚊 (ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、9種	#ピンをRI(入力)に ます。 デジタル 制度	するかVCCにV電源供	(給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択して	っとっこし アイ クレーション. ください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	10			
No. 機器名		設定 「「」「シリーズ=-	ICL-33A.フニット No=1	
a r prest			102 001.111) 1 HO 1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	JCL-33A	•
고드ット No		
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 → 設定完了

3.25 設定例 25

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 神港テクノス(株)	シリーズ 調節計 SIO ポート COM1
文字列データモード 2 変更	
通信設定	
通信方式	22/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)
通信速度 9600 💌	
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶装	t C 奇数
ストップビット	
フロー制御 © なし O ER(DTR/GTS) 🔿 XON/XOFF
タイムアウト β 🛨 (sec)	
リトライ P 芸	
送信ウェイト 2 📰 (ms)	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかV(にするかを選択できます。デジタル制BS232Cで	2015/1回源供給) (ハレージョンコニッ
トを使用する場合は、VCCを選択してください。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 📷	<u></u>
1 PLC1	ルモ 副 シリーズ=ACS-13A,ユニット No=1

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	2ms 以上	
19200bps	使用できません。	

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	ACS-13A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 → 設定完了

3.26 設定例 26

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値	
9600bps	2ms 以上	
19200bps	使用できません。	

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	ACS-13A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 設定完了

3.27 設定例 27

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(株)	シリーズ 調節語	+ SIO	ポート COM1
文字列データモード 2	- 変更			
通信設定				
通信方式 🖸	RS232C C	RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9)600	•		
データ長 🔎	7 0	8		
1915-r C	なし 💿	偶数	○ 奇数	
ストップビット 🖸	01 01	2		
フロー制御 🤅	0 tal. 🔿 🔿	ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🛛	: (sec)			
UN D 1 P				
送信ウェイト 📗	0 🔆 (ms)			
RI / VCC (RIO	VCC		
RS232Cの場合、9番ピ	ンをRI(入力)にするた))VCC(5V電源供給	ê)	
トを使用する場合は、	。) りろれ 裏 R52520 /CCを選択してくださ()。)。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台 📗	tti			
No. 機器名 ▼ 1 PLC1		- 設定 ジリーズ=NC	21-13A 7 Twb No=1	
00		Ref 12 17 17 17		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	50ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	NCL-13A	_
ユニット No		
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器の機器番号設定用ロータリースイッチと通信速度・通信プロトコル選 択用ディップスイッチで行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

設定項目

• 機器番号設定用ロータリースイッチ

ロータリー スイッチ	設定	設定内容
× 10	0	
x 1	1	

• 通信速度・通信プロトコル選択用ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容	
SW1	OFF	通信 油 府・0600hms	
SW2	OFF	通信还度.90000ps	
SW3	OFF	デジタル出力設定:神港標準プロトコル	
SW4	OFF	スタートビット:1 、データ長:7 ストップビット:1、パリティビット:偶数	

3.28 設定例 28

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス((株)	シリーズ 調節	計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線5	代)	
通信速度	9600	-		
データ長	• 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	⊙ 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β 🔆 (s	ec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	10 🚊 (n	ns)		
RI / VCC	© RI	n voc		
RS232Cの場合、9番	キビンをRI(入力)に	するかVCC(5V電源供	給)	
トを使用する場合は、	、VCCを選択してく	におい。 ださい。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	100			
No. 機器名		設定 「シリーズ=N	CL-13A フロット No=1	
1			02 10102201 110 1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	50ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	NCL-13A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器の機器番号設定用ロータリースイッチと通信速度・通信プロトコル選 択用ディップスイッチで行います。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

設定項目

• 機器番号設定用ロータリースイッチ

ロータリー スイッチ	設定	設定内容
× 10	0	機器番号設定・0 ~ 04
x 1	1	

• 通信速度・通信プロトコル選択用ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容	
SW1	OFF	通信 油度・0600hms	
SW2	OFF	· 西尼还反,90000ps	
SW3	OFF	デジタル出力設定:神港標準プロトコル	
SW4	OFF	スタートビット:1、データ長:7 ストップビット:1、パリティビット:偶数	

3.29 設定例 29

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス体	朱)	シリーズ 調節語	+ SIO	ポート COM1
文字列データモード 🗌	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	• RS2320 C	RS422/485位線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長(© 7 C	8		
パリティ (○なし ●	偶数	○ 奇数	
ストップビット (©1 C	2		
フロー制御	© 126 C	ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆 (sec))		
リトライ	2			
送信ウェイト	10 🔆 (ms)			
RI / VCC	• RI C	VCC		
RS232Cの場合、9番 にオるかを避視できま	ピンをRI(入力)にする オーデジタル制RS22	かVCC(5V電源供給 2Cマイハルージョンコン	ê)	
トを使用する場合は、	9。フララル裏Raza	2074972-9977 20%	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台 [the second	- 1		
No. 機器名 又 1 PLC1			に−33A.ユニット No=1	
<u> </u>		Ref from the second		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	DCL-33A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキー を押 , します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 → 設定完了

3.30 設定例 30

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
- 概要	<u> 緩器変更</u>		
メーカー 神港テクノス(株) シリーズ 調節計 SIO ポート COM1			
文字列データモード 2 変更			
通信設定			
通信方式 O RS232C ④ RS422/485(2線式) O RS422/485(4線式)			
通信速度 9600 🔽			
データ長 ◎ 7 ◎ 8			
パリティ C なし C 偶数 C 奇数			
ストップビット 💿 1 💿 2			
フロー制御 💿 なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF			
タイムアウト β 📑 (sec)			
yh54 P 🗄			
送信ウェイト 10 🚍 (ms)			
RI/VCC © RI Ĉ VCC			
RS2320の場合、9番ピンをRI(人力)にするかVCCのV電源供給) にするかを選択できます。デバカル制度C220Cアイルレンドンコニッ			
ドを使用する場合は、VOCを選択してださい。 初期設定			
機器別設定			
接続可能合数 16台 100			
No. 1株研名 設定 2 1 PLC1 1 PLC1 1 PLC1			

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	DCL-33A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー + モードキー を約3秒間押します。

補助機能設定モード1(設定値ロック設定)に移行します。

モードキー を 2 回押します。

通信プロトコル選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「NOML」(神港標準プロトコル)に設定し、モードキーを押 します。

機器番号設定に移行 します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。 設定完了

3.31 設定例 31

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要	接続機器変更		
メーカー 神港テクノス(株)	シリーズ 調節計 SIO ポート COM1		
文字列データモード 2 変更			
通信設定			
通信方式 ④ RS232C 〇 F	S422/485(2線式) C RS422/485(4線式)		
通信速度 9600 🔽			
データ長 💿 7 🔘 8			
パリティ のなし の 偈			
ストップピット ⊙1 ◯2			
70-制御 💿 なし 🔿 E	R(DTR/CTS) C XON/XOFF		
タイムアウト β 🚊 (sec)			
yhōn p 🚊			
送信ウェイト 🄁 拱 (ms)			
RI/VCC © RI C V	rec		
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするか にするかを避免できます。デジカル制度5232C	VCC5V電源供給) アイリージャンフェッ		
トを使用する場合は、VCCを選択してください	2011年1月1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1		
接続可能合数 16台 100			
No. (機奋治 】 1 PLC1	設定 		

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	55ms 以上
19200bps	100ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCL-13A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(PV/SV 表示切替え)に移行します。

モードキー を 5 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.32 設定例 32

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	(株)	シリーズ 調道	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2約	記) 〇 RS422/485(4線式))
通信速度	9600	•		
データ長	⊙ 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	O 2		
フロー制御	€ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	β <u>÷</u>	(sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	55 🚊	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VOC		
RS232Cの場合、9番ピンをRI(人力)にするかVOCGV電源供給)				
にするがを選択てきます。テンダル装わるなどのパンレーションエータ トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定				
機器別設定				
接続可能台数 16台 📷				
No. (機器) 1 PLC1 取正 ドリーズ=FCL-13A.フェット No=1				

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	55ms 以上
19200bps	100ms 以上

機器設定

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCL-13A	•
ユニット No		
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル
接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のモードキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

PV/SV 表示モードに移行します。

ダウンキー+モードキーを約3秒間押します。

補助機能設定モード1(PV/SV 表示切替え)に移行します。

モードキー を 5 回押します。

機器番号設定に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「1」に設定し、モードキー を押します。

通信速度選択に移行します。

ダウンキーまたはアップキーで「96」(9600bps)に設定し、モードキーを押します。
 設定完了

3.33 設定例 33

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス体	朱)	シリーズ 調節語	it sio	ポート COM1
文字列データモード 📑	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	• RS232C O	RS422/485(2線式	、) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長(© 7 O	8		
パリティ (○ なし · ●	偶数	○ 奇数	
ストップビット (€1 C	2		
フロー制御	© &U 🔿 🔿	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆 (sec)			
リトライ	2			
送信ウェイト	30 <u>÷</u> (ms)			
RI / VCC	• RI O	VCC		
RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)にする; ま、デジカル 知り5000	かVCC(5V電源供給	合)	
トを使用する場合は、	9。リンジル裏に5252 VCCを選択してくださ	07190-99922. (%		
機器別設定				
接続可能台数 16台 📷				
No. 機器名		設定 シリーズ=PC	>-900.7 T≫N No=1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	30ms 以上
19200bps	30ms 以上

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 👥 を クリックすることで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	PC-900	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のセット/リセットキー、ストップ/モードキー、ホールド/エント リーキー、アドバンス/ダウンキーおよびパターン/アップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

プログラム制御実行モードに移行します。

セット / リセットキー を押します。

パターン設定モードに移行します。

ストップ / モードを 4 回押します。

付属機能設定モードに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

警報パラメータに移行 します。

ストップ / モードを 5 回押します。

通信パラメータに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

通信速度選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「96」(9600bps) に設定し、ホール ド / エントリーキー を押します。

機器番号設定に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「1」に設定し、ホールド / エント リーキー を押します。

通信方式選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「NOML」(シリアル通信)に設定
 し、ホールド / エントリーキー を押します。

設定完了

3.34 設定例 34

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス	2(株)	シリーズ 調	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	 RS422/485(2希) 	泉式) C RS422/485(4線	(行
通信速度	9600	-		
データ長	• 7	08		
パリティ	○ なし	● 偶数	〇 奇数	
ストップビット	€ 1	O 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3	(sec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	30 🚊	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力))	にするか VCC (5V電源	供給)	
トを使用する場合(よ、VCCを選択し	いってい。 てください。	/エニッ 初期語	淀
機器別設定				
接続可能台数 16台	Ĵ 📊			
No. 機器名		設定 「」 「シリーズ:	=PC-900.フェット No=1	
. PEOT			-10 000,1101 140-1	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	30ms 以上
19200bps	30ms 以上

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 👥 を クリックすることで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	PC-900	•
ユニット No		
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のセット/リセットキー、ストップ/モードキー、ホールド/エント リーキー、アドバンス/ダウンキーおよびパターン/アップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

プログラム制御実行モードに移行します。

セット / リセットキー を押します。

パターン設定モードに移行します。

ストップ / モードを 4 回押します。

付属機能設定モードに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

警報パラメータに移行 します。

ストップ / モードを 5 回押します。

通信パラメータに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

通信速度選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「96」(9600bps) に設定し、ホール ド / エントリーキー を押します。

機器番号設定に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「1」に設定し、ホールド / エント リーキー を押します。

通信方式選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「NOML」(シリアル通信)に設定
 し、ホールド / エントリーキー を押します。

設定完了

3.35 設定例 35

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノス(称	k)	シリーズ 調節語	it sio	ポート COM1
文字列データモード 🏳	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式(• RS232C C	RS422/485位線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	-		
データ長(• 7 O	8		
パリティ (⊂なし •	偶数	C 奇数	
ストップビット (• 1 O	2		
フロー制御	© なし 🛛 🔿	ER(DTR/GTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆 (sec)			
リトライ 🕴	2			
送信ウェイト	10 🚊 (ms)			
RI / VCC (• RI O	VCC		
RS232Cの場合、9番と にオるかを選択できま?	ピンをRI(入力)にする ま デジタル制度523	かVCC(5V電源供給	ê)	
トを使用する場合は、	vocを選択してくださ	50% 50%	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台 📷				
No. 機器名		設定 シリーズ=PC	ンD-33A.フェット No=1	
00				

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 👥 を クリックすることで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	PCD-33A	•
고드ット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のセット/リセットキー、ストップ/モードキー、ホールド/エント リーキー、アドバンス/ダウンキーおよびパターン/アップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

プログラム制御実行モードに移行します。

セット / リセットキー を押します。

パターン設定モードに移行します。

ストップ / モードを 4 回押します。

付属機能設定モードに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

警報パラメータに移行 します。

ストップ / モードを 5 回押します。

通信パラメータに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

通信速度選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「96」(9600bps) に設定し、ホール ド / エントリーキー を押します。

機器番号設定に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「1」に設定し、ホールド / エント リーキー を押します。

通信方式選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「NOML」(シリアル通信)に設定
 し、ホールド / エントリーキー を押します。

設定完了

3.36 設定例 36

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノン	ス(株)	シリーズ 扉	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	RS422/485(2)	線式) ○ RS422/485(4線	(元)
通信速度	9600	-		
データ長	© 7	08		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	◎ なし	C ER(DTR/OTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3	(sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	10 🚊	(ms)		
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力)	にするか VOC (5V電源	(供給)	
トを使用する場合(よ、VCCを選択し	いる2820アイ クレーショ. てください。	ノユニッ 	設定
機器別設定				
	j 🔟			
No. 機器名			=PCD-33A 7 Twb No=1	
. p. 201			100 000.2101 000	

重要

通信速度によって送信ウェイトの設定値が異なります。
 以下のように設定してください。

通信速度	設定値
9600bps	10ms 以上
19200bps	10ms 以上

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 👥 を クリックすることで、接続機器を増やすことができます。

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	PCD-33A	•
ユニット No	1 🗄	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のセット/リセットキー、ストップ/モードキー、ホールド/エント リーキー、アドバンス/ダウンキーおよびパターン/アップキーで設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

電源を ON にします。

プログラム制御実行モードに移行します。

セット / リセットキー を押します。

パターン設定モードに移行します。

ストップ / モードを 4 回押します。

付属機能設定モードに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

警報パラメータに移行 します。

ストップ / モードを 5 回押します。

通信パラメータに移行します。

ホールド / エントリーキー を押します。

通信速度選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「96」(9600bps) に設定し、ホール ド / エントリーキー を押します。

機器番号設定に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「1」に設定し、ホールド / エント リーキー を押します。

通信方式選択に移行します。

アドバンス / ダウンキーまたはパターン / アップキーで「NOML」(シリアル通信)に設定
 し、ホールド / エントリーキー を押します。

設定完了

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。 ^{CPT}「3通信設定例」(10ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 神港テクノン	ス(株)	シリーズ 調道	節計 SIO	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	C RS422/485(2紡	」 〔● RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	• 7	C 8		
パリティ	○ なし	ⓒ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	© なし	C ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	2 :	(ms)		
RI / VCC	© RI	O VCC		
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき)番ピンをRI(入力)) きます。デジカル制(にするかVCC(5V電源(25232Cアイソルーション	共給)	
トを使用する場合	は、VCCを選択し	てください。	初期設定	1
機器別設定				
接続可能台数 16台		= 1		
No. 機器名		設定	FCD-13A.ユニット No=1	
接続可能台数 16 6 No. 機器名		設定 シリーズ=	FCD-13A,ユニット No=1	

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を表示します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を表示します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に 9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌆 ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 を クリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ	FCD-13A	•
ユニット No		
		初期化
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

設定項目	設定内容
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。
ユニット No	接続機器のユニット番号を「0 ~ 94」で入力します。

4.2 オフラインモードでの設定項目

 MEMO
 ・ オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してく ださい。

参照:保守/トラブル解決ガイド「2.2 オフラインモードについて」

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
調節計 SIO			[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御	RS422/48 9600 ● 7 ● なし ● 1 なし	5(4線式) 8 • 偶数 • 2) 奇数
	タイムアウト(\$) リトライ 送信ウェイト(ms)		3 2 2 2 *	
	終了		戻る	2007/02/08 00:29:43

設定項目	設定内容		
	接続機器と通信する通信方式を選択します。		
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保証できません。 シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアルを参照してください。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を表示します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を表示します。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。		
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。		
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。		

GP-Pro EX 機器接続マニュアル

機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
調節計 SIO			[COM1]	Page 1/1
接続	器名 PLI	01		-
	シリーズ	NCS-13A		
	J = N b No	_	1 -	1
	y+ wo.	1		
	終了		戻る	2007/02/08 00:29:48

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を表示します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
ユニット No.	接続機器のユニット No. を「0 ~ 94」で入力します。

オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に 9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

5 結線図

以下に示す結線図と神港テクノス(株)が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結 線図でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) ST (COM1) LT (COM1) IPC ¹ PC/AT	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてくだ さい。

自作ケーブルを使用する場合



結線図 2

A	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
В	自作ケーブル	
C	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長は 500m 以内 にしてください。
D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	A B C D E F	A(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01A(株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01B自作ケーブルB自作ケーブルC(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01C(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01D(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01D(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01E(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01F自作ケーブル

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CG™} IPC の COM ポートについて (7 ページ)

MEMO	• DCL-33A を接続する場合、神港テクノス製 CDM ケーブルと端子台を使用すること
	ができます。
	• NCL-13A を接続する場合、神港テクノス製ターミナルブロック ATB-001-1 を使用し
	てください。

- A) (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台 変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合





- B) 自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- C) (株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換ア ダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合





D) (株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





- E) (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台 変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- F) 自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合





結線図 3

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考	
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) LT (COM1) IPC ³	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル + 端子台 + 神港テクノス(株)製 CPM ケーブル 	 ケーブル長は 1000m 以内にしてください。 	
GP ⁴ (COM2)	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル + 端子台 + 神港テクノス(株)製 CPM ケーブル 	 ケーブル長は 1m 単位 で延長できます。 	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

- 4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

 MEMO

 終端となる調節計の通信設定用 No.2 ディップスイッチを ON して終端抵抗(120 1/2W)を挿入してください。
 表示器と接続機器では A 極と B 極の呼称が逆になっていますのでご注意ください。

- A) (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台 変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) 自作ケーブル、端子台および神港テクノス(株)製 CPM ケーブ ルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合





- B) (株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製 コネクタ端子台変換ア ダプタ(CA3-ADPTRM-01)) 自作ケーブル、端子台および神港テクノス(株)製 CPM ケーブルを 使用する場合
 - 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



結線図 4

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) ST (COM1) LT (COM1) IPC ¹ PC/AT	自作ケーブル + 神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器 IF-300-C5 ²	 表示器と IF-300-C5 間のケーブル 長は 15m 以内にしてください。 IF-300-C5 と接続機器間の合計 ケーブル長は 1200m 以内にして ください。

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^(了) IPC の COM ポートについて (7ページ)

2 神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器 (IF-300-C5) を使用する場合、表示器側の通信設定 は RS-232C にしてください。(市販の RS-232C RS-485 変換器は使用できません。)

MEMO • RS-232C RS-485 変換器には終端抵抗 100Ω が内蔵されています。

自作ケーブルおよび神港テクノス(株)製RS-232C RS-485 変換器(IF-300-C5)を使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 5

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
	A	自作ケーブル + 神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器 IF-400(DCL-33A 付き) ²	
GP (COM1) ST (COM1) LT (COM1) IPC ¹ PC/AT	В	自作ケーブル + 神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器 IF-400(端子台接続の接続機器)	 表示器と IF-400 間のケーブル長は 15m 以内にしてください。 IF-400 と接続機器間の合計ケーブル長は 1200m 以内にしてください。
	С	自作ケーブル + 神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器 IF-400(ネジ接続の接続機器)	

- 2 神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器 (IF-400) を使用する場合、表示器側の通信設定は RS-232C にしてください。(市販の RS-232C RS-485 変換器は使用できません。)
- A) 自作ケーブルおよび神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器(IF-400 (DCL-33A 付き))を
 使用する場合
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- B) 自作ケーブルおよび神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器(IF-400(端子台接続の接続 機器))を使用する場合
 - 1:1 接続の場合





- C) 自作ケーブルおよび神港テクノス(株)製 RS-232C RS-485 変換器(IF-400(ネジ接続の接続機器))を使用する場合
 - 1:1 接続の場合





6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

接続機器のアドレスは以下のダイアログで入力します。



1. アドレス

2. 参照

アドレスを入力します。 使用できるパラメータのリストが表示されます。 使用するパラメータをクリックして「選択」を押すと、アドレ スが入力されます。 6.1 Cシリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	16 bits	備考
チャンネル1	1CH0001.0 - 1CH00A1.F	1CH0001 - 1CH00A1		1
チャンネル2	2CH0001.0 - 2CH00A1.F	2CH0001 - 2CH00A1		1
チャンネル 3	3CH0001.0 - 3CH00A1.F	3CH0001 - 3CH00A1		1
チャンネル4	4CH0001.0 - 4CH00A1.F	4CH0001 - 4CH00A1		1
チャンネル 5	5CH0001.0 - 5CH00A1.F	5CH0001 - 5CH00A1		1
チャンネル 6	6CH0001.0 - 6CH00A1.F	6CH0001 - 6CH00A1		1
チャンネル 7	7CH0001.0 - 7CH00A1.F	7CH0001 - 7CH00A1		1
チャンネル 8	8CH0001.0 - 8CH00A1.F	8CH0001 - 8CH00A1		1
チャンネル 9	9CH0001.0 - 9CH00A1.F	9CH0001 - 9CH00A1		1
チャンネル 10	10CH0001.0 - 10CH00A1.F	10CH0001 - 10CH00A1	ыль	1
チャンネル 11	11CH0001.0 - 11CH00A1.F	11CH0001 - 11CH00A1		1
チャンネル 12	12CH0001.0 - 12CH00A1.F	12CH0001 - 12CH00A1		1
チャンネル 13	13CH0001.0 - 13CH00A1.F	13CH0001 - 13CH00A1		1
チャンネル 14	14CH0001.0 - 14CH00A1.F	14CH0001 - 14CH00A1		1
チャンネル 15	15CH0001.0 - 15CH00A1.F	15CH0001 - 15CH00A1		1
チャンネル 16	16CH0001.0 - 16CH00A1.F	16CH0001 - 16CH00A1		1
チャンネル 17	17CH0001.0 - 17CH00A1.F	17CH0001 - 17CH00A1		1
チャンネル 18	18CH0001.0 - 18CH00A1.F	18CH0001 - 18CH00A1		1
チャンネル 19	19CH0001.0 - 19CH00A1.F	19CH0001 - 19CH00A1		1
チャンネル 20	20CH0001.0 - 20CH00A1.F	20CH0001 - 20CH00A1		1

1 書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当する 20CH 分のワードアドレスを読込み、読込 んだワードアドレスを変更して 20CH 分接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのデータを接続機器側で変更すると、正しいデータが書き込めない場合がありま す。

MEMO	 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用)」
	• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。
	「「表記のルール」

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

6.2 FC シリーズ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	16 bits	備考
データ項目	0002.0 - 0086.F	0002 - 0086		1
設定値メモリ1	1S0001.0 - 1S0036.F	1\$0001 - 1\$0036		1
設定値メモリ2	2S0001.0 - 2S0036.F	2\$0001 - 2\$0036		1
設定値メモリ3	3S0001.0 - 3S0036.F	3\$0001 -3\$0036		1
設定値メモリ4	4S0001.0 - 4S0036.F	4\$0001 - 4\$0036		1
設定値メモリ5	5S0001.0 - 5S0036.F	5\$0001 - 5\$0036		1
設定値メモリ6	6S0001.0 - 6S0036.F	6\$0001 - 6\$0036		1
設定値メモリ7	7S0001.0 - 7S0036.F	7\$0001 - 7\$0036		1

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスを接続機器で変更すると、正しいデータが書込めない場合があります。

 MEMO
 ・ 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.3 JC*-13A、JCS-23A、GCS-300、FCL-13A、FIR-201-M

L はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	16 bits	備考
データ項目	0001.0 - 00A3.F	0001 - 00A3	[H/L]	1

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスを接続機器で変更すると、正しいデータが書込めない場合があります。

MEMO	• 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ
	リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「塗」「表記のルール」

6.4 JCS-33A、JCR-33A、JCD-33A、JCM-33A、ACS-13A、NCL-13A、 DCL-33A、JIR-301-M

レーニン はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	16 bits	備考
データ項目	0001.0 - 00A1.F	0001 - 00A1	[H/L]	1

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスを接続機器で変更すると、正しいデータが書込めない場合があります。

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.5 JCL-33A

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	16 bits	備考
データ項目	0001.0 - 1191.F	0001 - 1191	[H/L]	1

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスを接続機器で変更すると、正しいデータが書込めない場合があります。

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「塗」「表記のルール」

MEMO
 ・ 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」

MEMO
 ・ 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」

6.6 PCD-33A

レーニン はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	16 bits	備考
データ項目	0001.0 - 1992.F	0001 - 1992	[H/L]	1

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスを接続機器で変更すると、正しいデータが書込めない場合があります。

MEMO ・ 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

- 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.7 PC-900

レーニン はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	16 bits	備考
データ項目	0001.0 - 7901.F	0001 - 7901	[H/L]	1

1 ビット書込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読込み、読込んだ ワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読込んで返す 間に、そのワードアドレスを接続機器で変更すると、正しいデータが書込めない場合があります。

 MEMO
 ・ 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

> 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「『「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データ項目	-	0000	ワードアドレス
設定値メモリ1	15	0001	ワードアドレス
設定値メモリ2	28	0002	ワードアドレス
設定値メモリ 3	3S	0003	ワードアドレス
設定値メモリ4	4S	0004	ワードアドレス
設定値メモリ 5	5S	0005	ワードアドレス
設定値メモリ6	6S	0006	ワードアドレス
設定値メモリ 7	7S	0007	ワードアドレス
チャンネル1	1CH	0011	ワードアドレス
チャンネル2	2CH	0012	ワードアドレス
チャンネル 3	3CH	0013	ワードアドレス
チャンネル4	4CH	0014	ワードアドレス
チャンネル 5	5CH	0015	ワードアドレス
チャンネル 6	6CH	0016	ワードアドレス
チャンネル 7	7CH	0017	ワードアドレス
チャンネル 8	8CH	0018	ワードアドレス
チャンネル 9	9CH	0019	ワードアドレス
チャンネル 10	10CH	001A	ワードアドレス
チャンネル 11	11CH	001B	ワードアドレス
チャンネル 12	12CH	001C	ワードアドレス
チャンネル 13	13CH	001D	ワードアドレス
チャンネル 14	14CH	001E	ワードアドレス
チャンネル 15	15CH	001F	ワードアドレス
チャンネル 16	16CH	0020	ワードアドレス
チャンネル 17	17CH	0021	ワードアドレス
チャンネル 18	18CH	0022	ワードアドレス
チャンネル 19	19CH	0023	ワードアドレス
チャンネル 20	20CH	0024	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容		
番号	エラー番号		
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])		
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。		
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。		

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :2[02H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。		
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「		
	ラーが表示されたら(エラーコード一覧)」を参照してください。		

ドライバ固有のエラーコード

エラーコードは16進数1バイトで構成されます。

エラー コード	エラー名	原因
30	原因不明エラー	原因不明エラー 復旧可能な問題 (パリティエラーなど)が起きた時に 発生するエラーです。コマンド再送によって復旧しま す。
31	存在しないコマンドの場合	存在しないコマンドの場合
33	設定値の範囲を超えた場合	設定値の範囲を超えた場合
34	設定できない状態(AT 実行中および電 源投入時のウォームアップ中)の場合	設定できない状態 (AT 実行中および電源投入時の ウォームアップ中) の場合
35	キー操作による設定モード中の場合	キー操作による設定モード中の場合